

simc News Letter

Sendai International Music Competition

2022年6月19日号

仙台国際音楽コンクールニュースレター

第8回仙台国際音楽コンクール【開催日程】ヴァイオリン部門 2022.5.21(土)～6.5(日) ピアノ部門 2022.6.11(土)～2022.6.26(日)

第8回仙台国際音楽コンクール・ピアノ部門全体レポート
セミファイナル 第1日 2022年6月17日(金)

尾形 牧子

(仙台国際音楽コンクール企画推進委員／公益財団法人日本ピアノ教育連盟東北支部支部長)

2022年6月17日(金)梅雨入りとはいえ、心地よいそよ風と青空のもと、第8回仙台国際音楽コンクール・ピアノ部門のセミファイナルが始まりました。今日からの3日間で、12名のコンテストの演奏が繰り広げられます。

17日の第1日目は、韓国のキム・セヒョン2007年生、ベートーヴェン作曲ピアノコンチェルト第2番。日本の小野寺拓真2005年生、モーツァルト作曲ピアノコンチェルトK453。ドイツのヨナス・アウミラー1998年生、ベートーヴェン作曲ピアノコンチェルト第1番。そして日本の太田糸音2000年生、ベートーヴェン作曲ピアノコンチェルト第1番。と後半に同じ曲が続きますが、オーケストラは指揮者が高関健氏、仙台フィルハーモニー管弦楽団の団員により、コンテストを大いに支え、互いに音楽の会話を楽しみながら素晴らしい演奏を聴かせてくださいました。

審査委員は、セミファイナル・ファイナルでは次の方々によります。審査委員長野平一郎、審査副委員長海老彰子／ジャック・ルヴィエ、審査委員ジュゼッペ・アンダローロ／ミシェル・ペロフ／ダン・タイ・ソン／マティアス・キルシュネライト／岡田博美／植田克己／エリソ・ヴィルサラゼ／フランク・ウィボーの11名で、身じろぎもせず4人の演奏を聴き入っている後ろ姿に敬服いたしました。

セミファイナルの課題曲は、次の7曲の中から1曲を選択し演奏。モーツァルトが故郷ザルツブルクから大都会のウィーンへ移り、1784年、彼が28歳の時に作曲した第15番から第19番までの5曲。それにベートーヴェンがボンからウィーンへ引越して間もない時期の1795年、彼が25歳の時に初稿が完成した第1番、第2番は1786年から1795年にかけて作曲、第1番より先に作曲されていますが、第1番と同様1795年3月に完成していることが残された資料から理解ができます。2曲共にベートーヴェン自身があのブルク劇場で初演していると記録が残されています。天才作曲家のお二人の曲を、同世代の若いコンテストの方々、見事に演奏している姿を見て感慨深いものがありました。

会場の日立システムズホール仙台の地下1階にあるコンクール事務局のすぐそばには、コンテストがいつでもでも相談できるインフォメーションが設置されています。

1階のロビーには、仙台七夕飾りがあり、おもてなしの心が通います。ホールの要所要所には、市民のボランティアの方々があり、このコンクールならではの運営のサポートをしていることに、一市民として誇りに思いました。

事務局の皆様は、審査委員の先生方の導線に添い、大変配慮ある、周到な準備に従い動いていることが感じられ、演奏に集中し聴かせて頂くことが出来ました。

居ながらにして、世界各国からの若いコンテストの演奏を生で聴ける贅沢さに感謝の気持ちで一杯です。引続き2日目・3日目の演奏も楽しみです。聴衆の前でコンテストの皆様は思う存分力を発揮し、表現し、パフォーマンスで喜びを得、聴衆もまた感動し、大きな拍手とともに、歓びになるこのコンクールを引き続き応援したいと思えます。(第2日につづく)



◀ コンテストサポートデスク



▶市民ボランティアによってつくられたロビーの仙台七夕飾り

♪コンクールの演奏をYouTubeでお楽しみいただけます。
第8回仙台国際音楽コンクールでは、両部門の予選から表彰式、ガラコンサートまでのライブ配信を4K60pで行っています。また演奏日の翌日から9月30日(金)まで期間限定でオンデマンド配信も行いますので、ぜひご視聴ください。

第8回仙台国際音楽コンクール公式サイト
https://simc.jp/8th_competition/
Facebook :@SendaiInternationalMusicCompetition
twitter :@sendai_simc